

特記事項

特記なき限り

基礎梁 : 外周部 FG1 内部 FG2

底盤 : FS1 (D13@200)  
FS2 (D13@100) は、FS2とする。

底盤天端は、GL-150

コンクリート  $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$  (品質基準強度  $F_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ )  
(設計基準強度  $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ )  
(JASS5 2003年版 にて施工のこと)

鉄筋 SD295A

地盤支持力  $L_{fe} = 30 \text{ kN/m}^2$   
※表層部の地耐力にバラつきがある為、750mm以上の掘取りを施し、  
それ以深をランマーで十分に転圧すること。

アンカーボルト

- 印及び ⊗ 印は、アンカーボルト位置を示す。
  - 印アンカーボルトは、A-40を示す。 ※埋め込み長さ250mm以上。
  - ⊗ 印アンカーボルトは、ホールダウン用アンカーボルトA-60を示す。 ※埋め込み長さ360mm以上。
- アンカーボルトの納まりは、標準図を参照のこと。

□ 印は、1階の柱位置を示す。

+ 印は、束位置を示す。



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
二級建築士登録 第78977号

印  
構造設計事務所  
株式会社 ミュー設計室  
一級建築士 大臣登録 第212714号  
阿部 匡

設計  
設計年月日  
2015/10/28

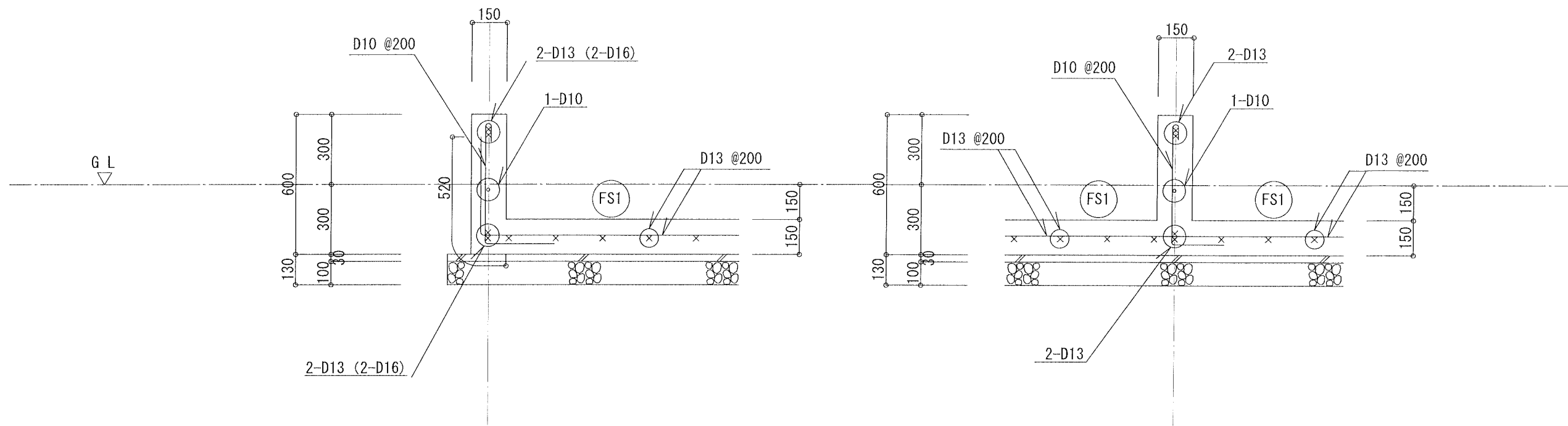
工事名称  
檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事  
図面名  
基礎伏図  
縮尺  
S = 1 : 50

図面番号  
S-09

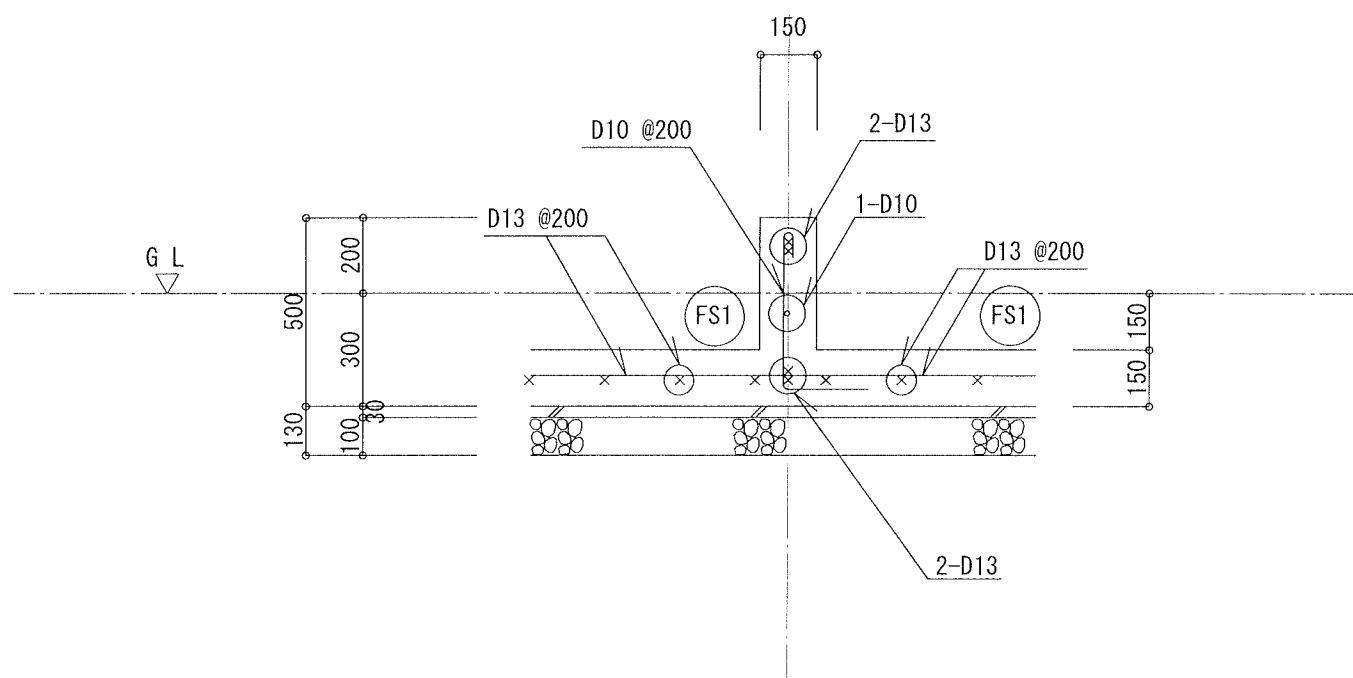
FG1・FG1A (外周部)

( )内数値はFG1Aを示す

FG2 (内部)



FG3



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所 東京都知事登録 第55992号  
小豆畑 充宏 二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
株式会社 ミュー設計室  
一級建築士 大臣登録 第212714号  
阿部 匡

設計



設計年月日  
2015/10/28

工事名称  
檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図

図面名  
基礎断面図

縮尺  
S = 1 : 20

図面番号

S - 10

特記事項

- 1-1) ㊦印は、1、2階通し柱を示す。 桧 120×120  
 2) ㊦印は、管柱を示す。 桧 120×120  
 3) 土台 桧 120×120 とする。  
 4) 大引 桧 90×90 @910とする。  
 5) 根太 桧 45×45 @303とする。  
 6) 床下地材は、構造用合板(ア)12mm貼りとする。  
 7) 外壁面の構造用合板は特類二級以上とする。  
 8) 品質は、無等級材又は、同等以上の耐力を有するものとする。  
 9) 地盤面から1m以内の部分に防腐・防蟻措置を行うこと。  
 10) 仕口等の構造方法は、標準図参照のこと。  
 11) 引抜きの起きる上下通る柱の補強は、標準図参照のこと。  
 12) 特記なき柱のホゾの寸法は30mm×90mmとする。

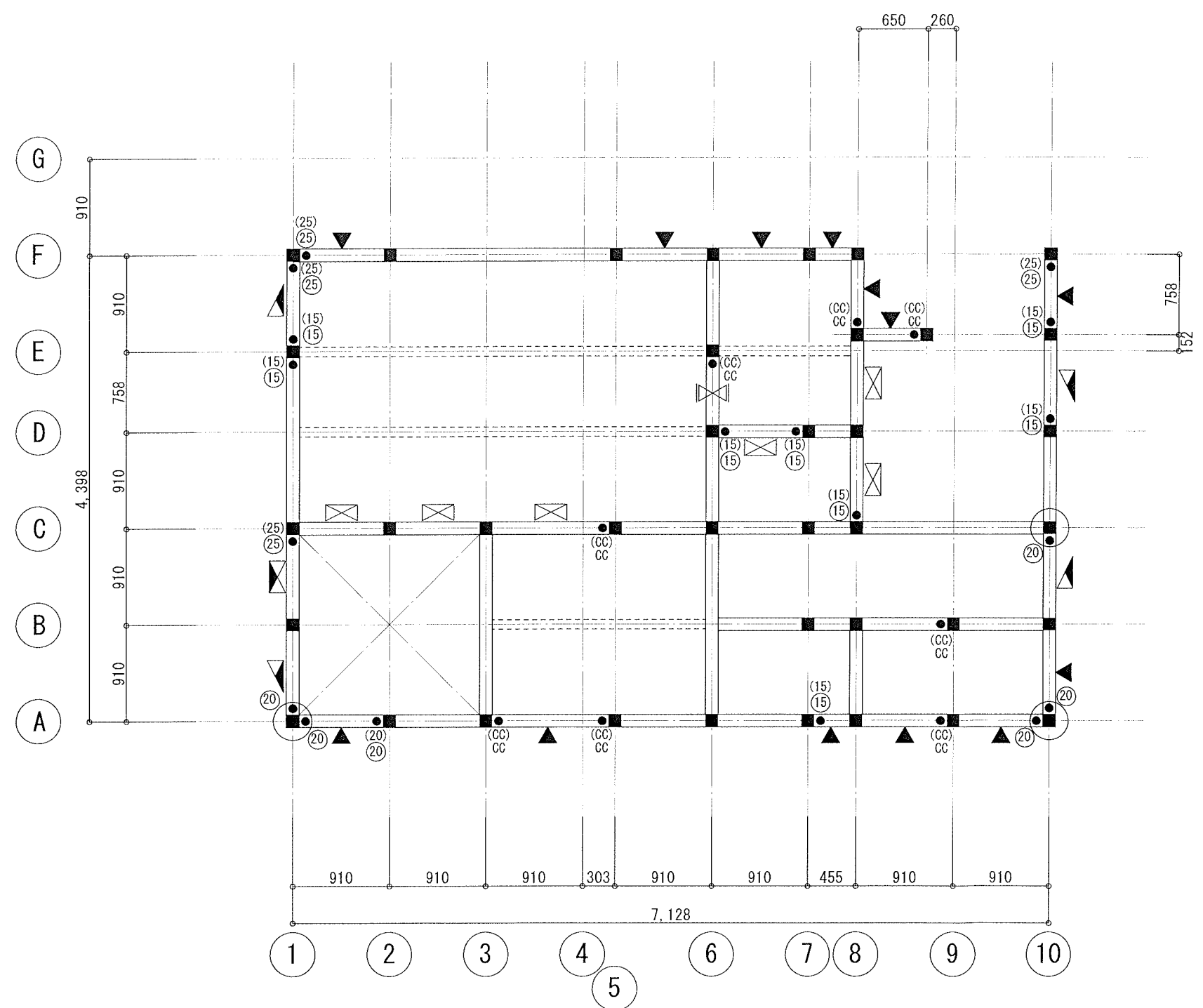
- 2-1) 壁倍率の仕様は以下による。  
 記号(片筋かいは、三角形の底辺を下端とした向きとする。)  
 耐力壁倍率 5 ㊦ : 45×90 たすき掛け+構造用合板(ア)9mm以上片面貼り  
 耐力壁倍率 4.5 ㊦ : 45×90 片掛け+構造用合板(ア)9mm以上片面貼り  
 耐力壁倍率 4 ㊦ : 45×90 たすき掛け  
 耐力壁倍率 2.5 ㊦ : 構造用合板(ア)9mm以上片面貼り  
 耐力壁倍率 1.8 ㊦ : 石膏ボード(ア)15mm以上両面貼り

- ※ 構造用合板は日本農林規格(昭和51年農林省告示第894号)に規定するもので、  
 寸法はN50を15cm間隔に打つこととする。  
 ※ 構造用合板の張り方は、3'×6'版(910mm×1820mm)を用いる場合は、  
 縦張り又は横張りとする。  
 ※ 石膏ボードは、JIS A 6901-2005 適合品とし、釘はGNF40又はGNC40  
 を15cm間隔以下に打つこととする。

- 3-1) 接合金物は、以下による。  
 ● 25 印 S-HD25 ● 20 印 S-HD20  
 ● 15 印 S-HD15 ● CC 印 コンパクトコーナー(鈑力製)

注1) ○印付ホールダウン金物は、ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎梁に緊結のこと。  
 ※ ( )内の金物は、柱頭に設置のこと。  
 ※ 図面内指定金物以外でも同等耐力以上の金物に限り代替可能とする。  
 ※ 1階の特記なき柱の柱頭・柱脚には、CP-T金物又は山形プレート又は同等以上の  
 金物を設けること。

3-2) 金物は、Zマーク表示のものとする。



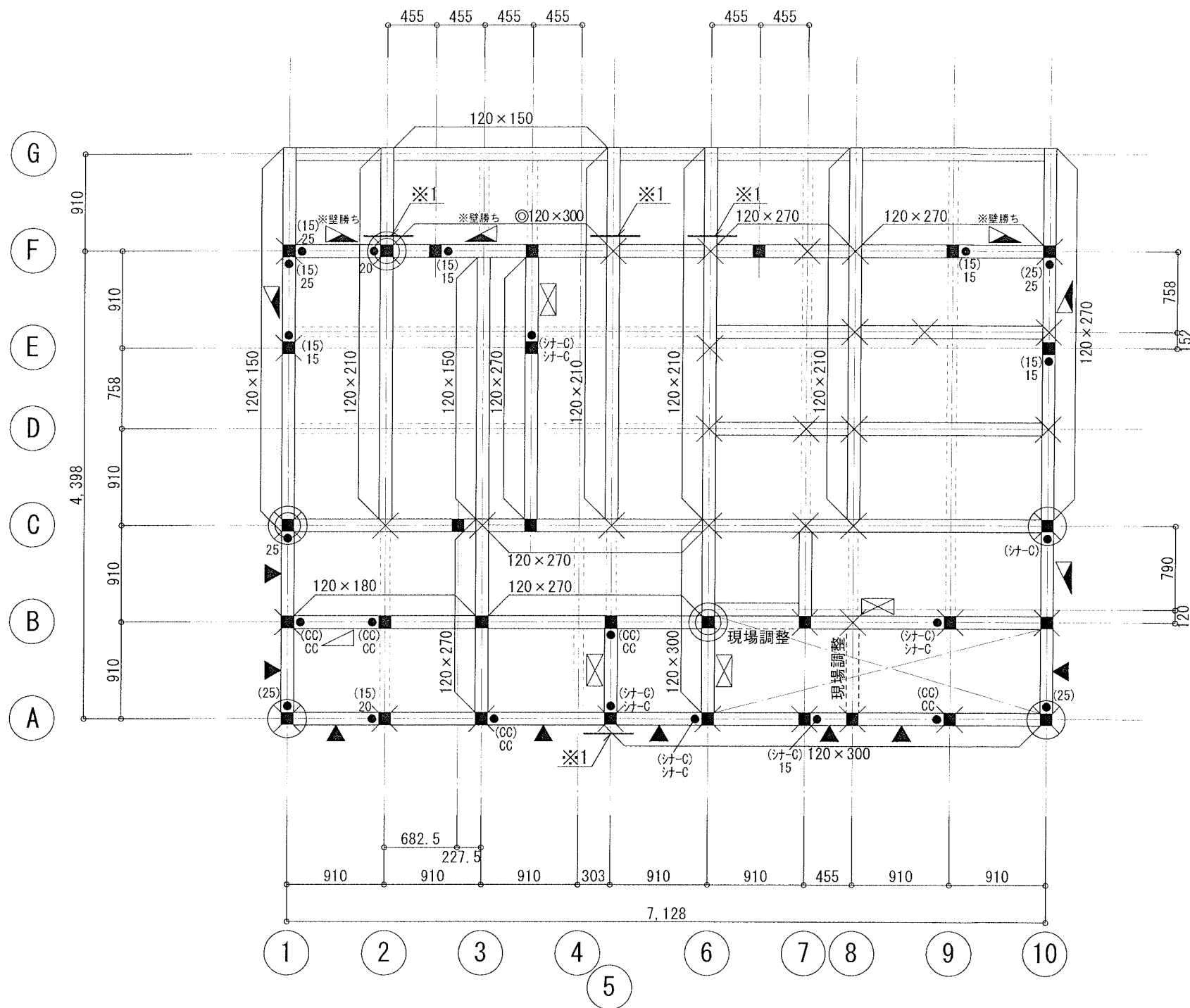
HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所 東京都知事登録 第55992号  
 小豆畑 充宏 二級建築士登録 第78977号

印 構造設計事務所  
 株式会社 ミュー設計室  
 一級建築士 大臣登録 第212714号  
 阿部 匡

設計 設計年月日  
 2015/10/28

工事名称 檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図  
 図面名 1階床伏図 縮尺 S=1:50  
 図面番号 S-11



特記事項

- 1-1) ②印は、1, 2階通し柱を示す。 桧 120×120
- 2) ③印は、2, 3階通し柱を示す。 桧 120×120
- 3) ㊦印は、管柱を示す。 桧 120×120
- 4) ㊧印は、下階柱を示す。
- 5) 床下地材は、構造用合板 $\text{ア}$ 24mm貼り4周釘打ち、N75@150以下の直貼りとする。
- 6) 外壁面の構造用合板は特類二級以上とする。
- 7) 〰〰〰は合板受けとし、米榫 90×90とする。
- 8) 断面寸法表示のない梁は、E105-F300 120×120 とする。
- 9) 断面寸法表示の梁は、E105-F300 とする。
- 10) E105-F300の梁は、対称異等級とし、材種は 欧州赤松とする。
- 11) ④印の梁はE120-F330、対称異等級とし、材種は 米松とする。
- 12) 引抜きの起きる上下通る柱の補強は、標準図参照のこと。
- 13) 品質は、無等級材又は、同等以上の耐力を有するものとする。
- 14) 仕口等の構造方法は、標準図参照のこと。
- 15) 集材材は、JAS規格とする。
- 16) 特記なき柱のホゾの寸法は30mm×90mmとする。

- 2-1) 壁倍率の様子は以下による。
- 記号(片筋かいは、三角形の底辺を下端とした向きとする。)
- 耐力壁倍率 4.5  $\blacktriangleleft$  : 45×90 片掛け+構造用合板 $\text{ア}$ 9mm以上片面貼り
  - 耐力壁倍率 4  $\triangleleft$  : 45×90 たすき掛け
  - 耐力壁倍率 2.5  $\blacktriangleright$  : 構造用合板 $\text{ア}$ 9mm以上片面貼り
  - 耐力壁倍率 2.0  $\triangleleft$  : 45×90 片掛け

※ 構造用合板は日本農林規格(昭和51年農林省告示第894号)に規定するもので、  
 ぐきはN50を15cm間隔に打つこととする。

※ 構造用合板の張り方は、3'×6'版(910mm×1820mm)を用いる場合は、  
 縦張り又は横張りとする。

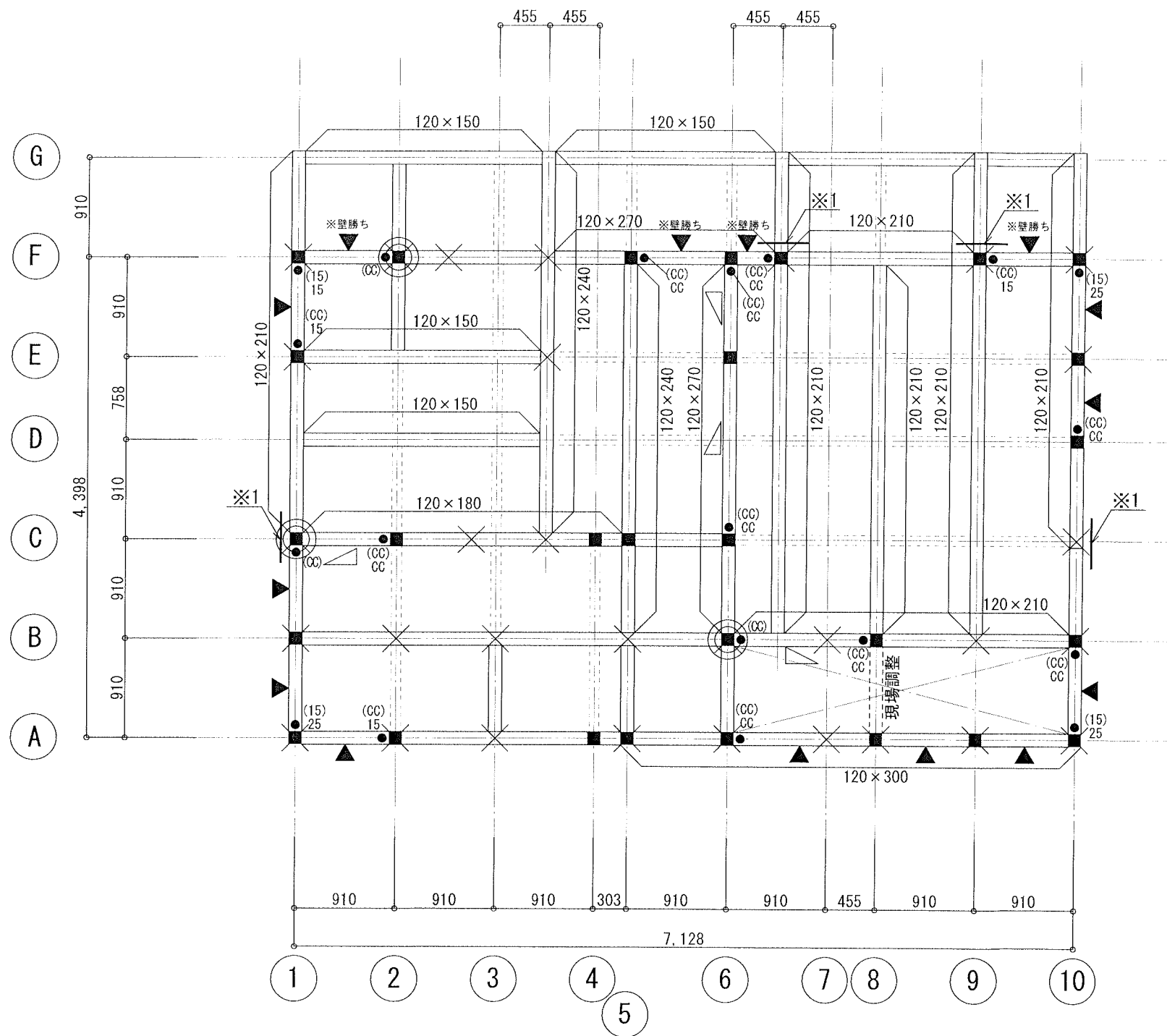
- 3-1) 接合金物は、以下による。
- 25 印 S-HD25
  - 20 印 S-HD20
  - 15 印 S-HD15
  - シナ-C 印 シナ-C(シナ製)
  - CC 印 コンパクトコーナー(シナ製)

※ ( )内の金物は、柱頭に設置のこと。

※ 図面内指定金物以外でも同等耐力以上の金物に限り代替可能とする。

3-2) 金物は、Zマーク表示のものとする。

- 4-1) 横架材端部接合部の仕様は以下による。
- 特記なき横架材と横架材の継手：A継手とする。(仕様書参照)
- ※1 印付部材接合部は、B継手とする。(仕様書参照)



特記事項

- 1-1) ●印は、2, 3階通し柱を示す。 桧 120×120
- 2) ■印は、管柱を示す。 桧 120×120
- 3) ✕印は、下階柱を示す。
- 4) 床下地材は、構造用合板<sup>ア</sup>24mm貼り4周釘打ち、N75@150以下の直貼りとする。
- 5) 外壁面の構造用合板は特類二級以上とする。
- 6) □印は合板受けとし、米楯 90×90とする。
- 7) 断面寸法表示のない梁は、E105-F300 120×120 とする。
- 8) 断面寸法表示の梁は、E105-F300 とする。
- 9) E105-F300の梁は、対称異等級とし、材種は 欧州赤松とする。
- 10) 引抜きの起きる上下通る柱の補強は、標準図参照のこと。
- 11) 品質は、無等級材又は、同等以上の耐力を有するものとする。
- 12) 仕口等の構造方法は、標準図参照のこと。
- 13) 集成材は、JAS規格とする。
- 14) 特記なき柱のホゾの寸法は30mm×90mmとする。

2-1) 壁倍率の仕様は以下による。

記号 (片筋かいは、三角形の底辺を下端とした向きとする。)

耐力壁倍率 2.5 ▲ : 構造用合板<sup>ア</sup>9mm以上片面貼り

耐力壁倍率 2.0 ▽ : 45×90 片掛け

※ 構造用合板は日本農林規格 (昭和51年農林省告示第894号) に規定するもので、  
くぎはN50を15cm間隔に打つこととする。

※ 構造用合板の張り方は、3'×6'版(910mm×1820mm)を用いる場合は、  
縦張り又は横張りとする。

3-1) 接合金物は、以下による。

- 25 印 S-HD25
- 20 印 S-HD20
- 15 印 S-HD15
- CC 印 コンパクトコーナー(タカ製)

※ ( )内の金物は、柱頭に設置のこと。

※ 図面内指定金物以外でも同等耐力以上の金物に限り代替可能とする。

3-2) 金物は、Zマーク表示のものとする。

4-1) 横架材端部接合部の仕様は以下による。

特記なき横架材と横架材の継手: A継手とする。(仕様書参照)

※1 — 印付部材接合部は、B継手とする。(仕様書参照)



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
株式会社 ミュー設計室  
一級建築士 大臣登録 第212714号  
阿部 匡

設計



設計年月日  
2015/10/28

工事名称  
檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図

図面名  
3階床伏図

縮尺  
S = 1:50

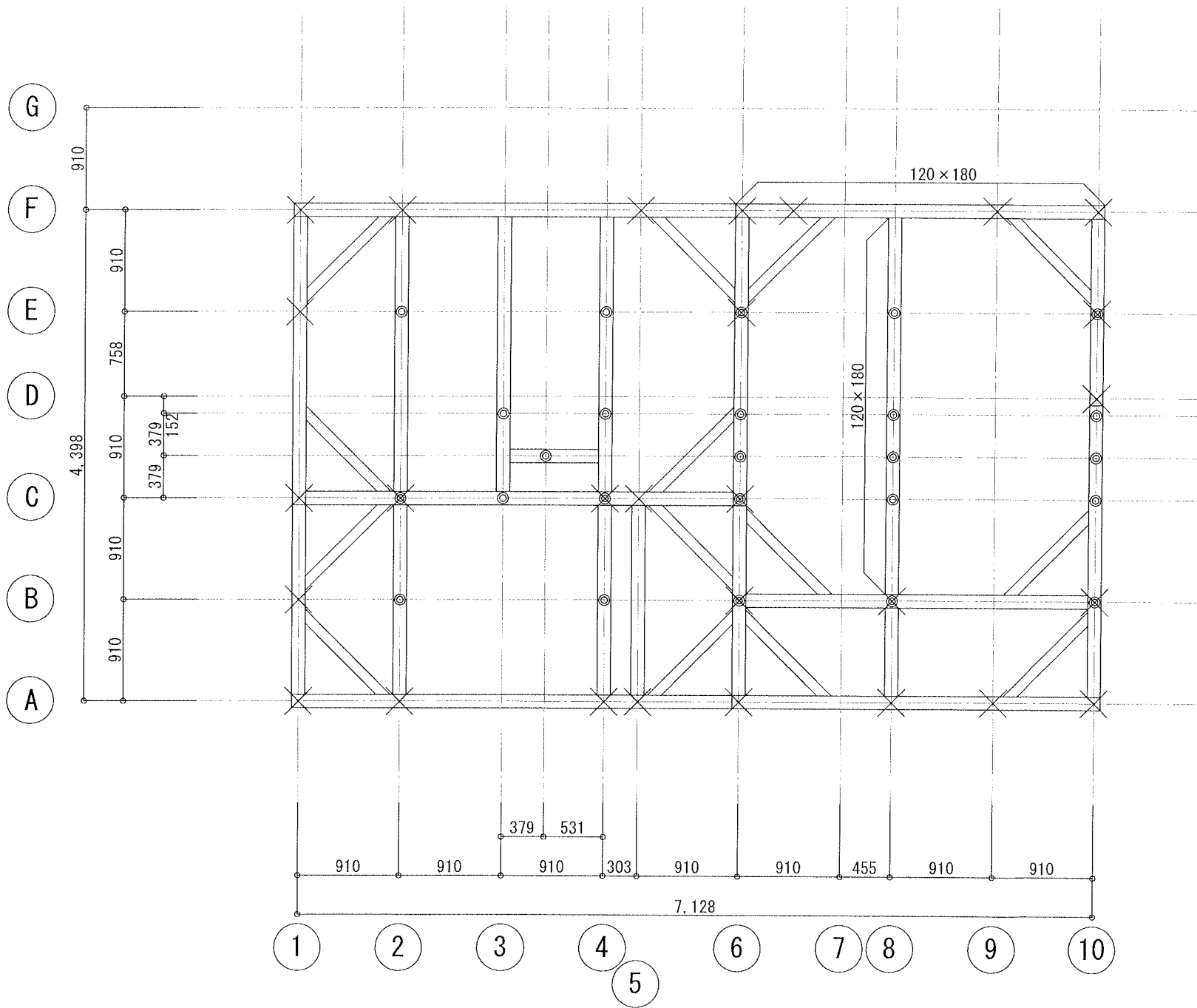
図面番号

S - 13

特記事項

- 1-1) 印は、下階柱を示す。
- 2) 印は、小屋束 米柵 90×90を示す。
- 3) 火打 米柵 90×90 又は火打ち金物とする。
- 4) 断面寸法表示のない梁は、E105-F300 120×120 とする。
- 5) 断面寸法表示の梁は、E105-F300 とする。
- 6) E105-F300の梁は、対称異等級とし、材種は 欧州赤松とする。
- 7) 品質は、無等級材又は、同等以上の耐力を有するものとする。
- 8) 仕口等の構造方法は、標準図参照のこと。

2-1) 横架材端部接合部の仕様は以下による。  
 特記なき横架材と横架材の継手：A継手とする。(仕様書参照)



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
 小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
 二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
 株式会社 ミュー設計室  
 一級建築士 大臣登録 第212714号  
 阿部 匡

設計



設計年月日  
 2015/10/28

工事名称  
 檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図

図面名  
 小屋伏図

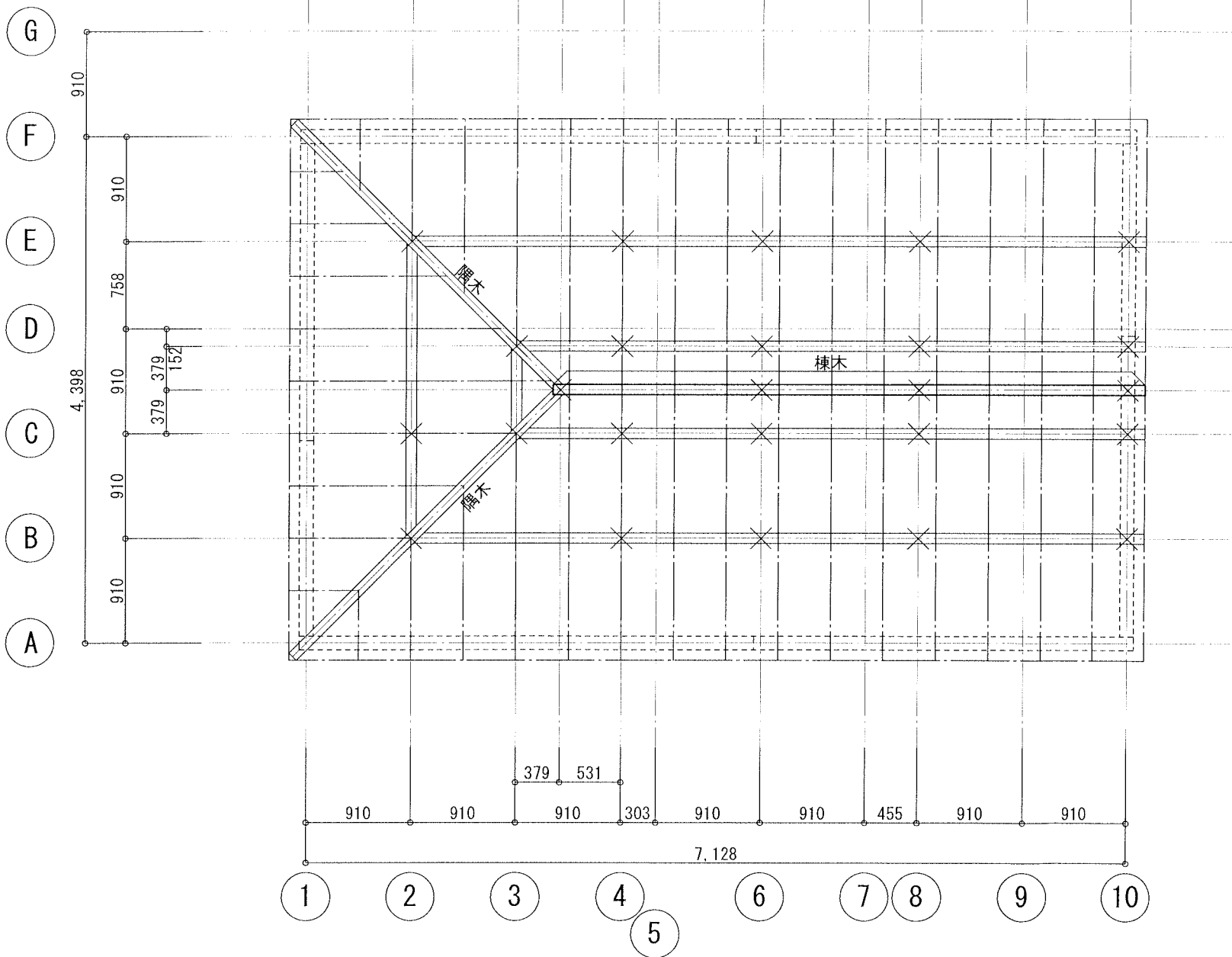
縮尺  
 S = 1:50

図面番号

S - 14

特記事項

- 1-1) 印は、下階小屋束を示す。
- 2) 垂木 米柵 45×45 @455 とする。
- 3) 棟木 米柵 90×90 とする。
- 4) 母屋 米柵 90×90 とする。
- 5) 隅木 米柵 90×90 とする。
- 6) 野地板は、構造用合板 $\text{A}$ 12mmを貼り 釘N50@150 とする。
- 7) 品質は、無等級材又は、同等以上の耐力を有するものとする。



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
株式会社 ミュー設計室  
一級建築士 大臣登録 第212714号  
阿部 匡

設計



設計年月日  
2015/10/28

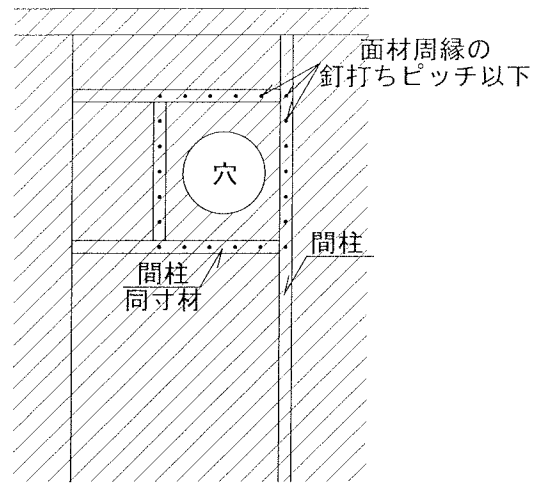
工事名称  
檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図

図面名  
屋根伏図

縮尺  
S = 1 : 50

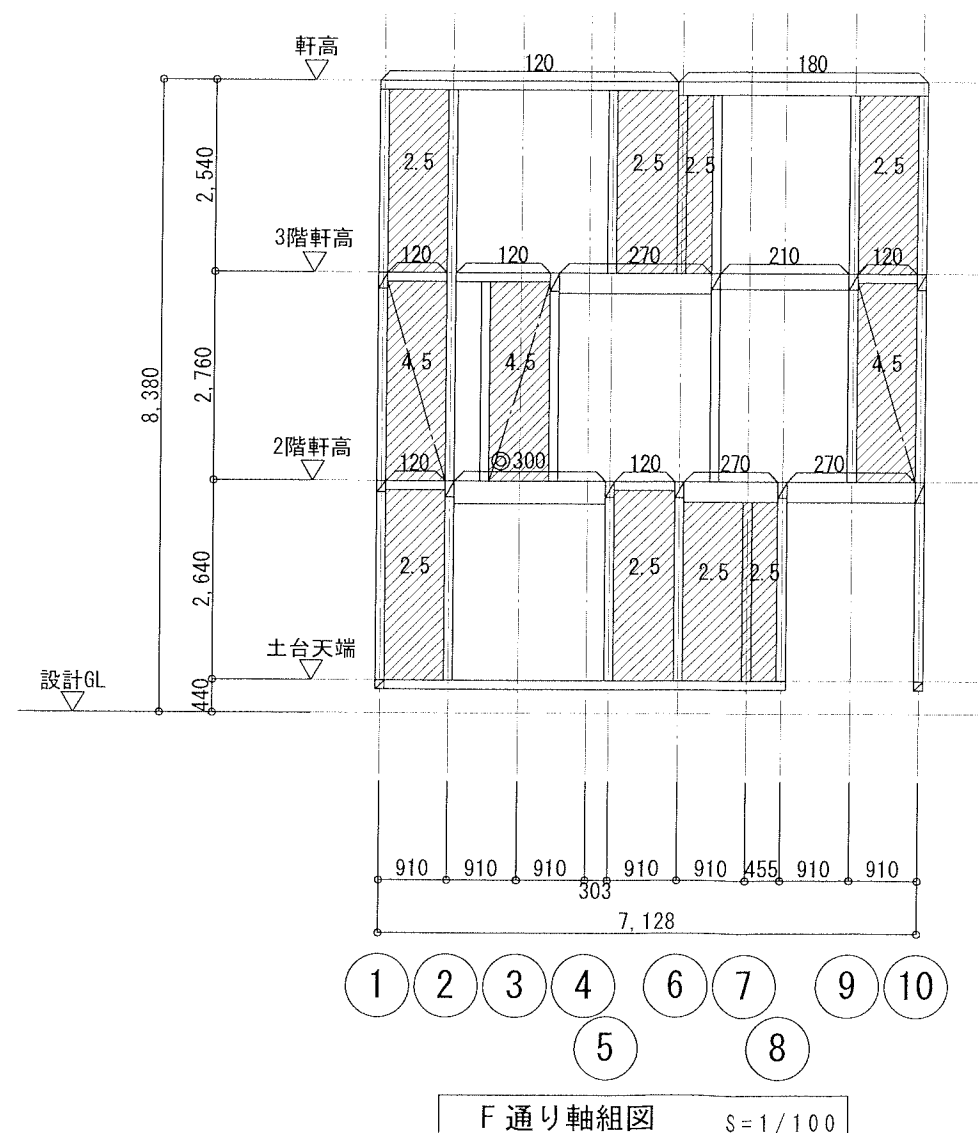
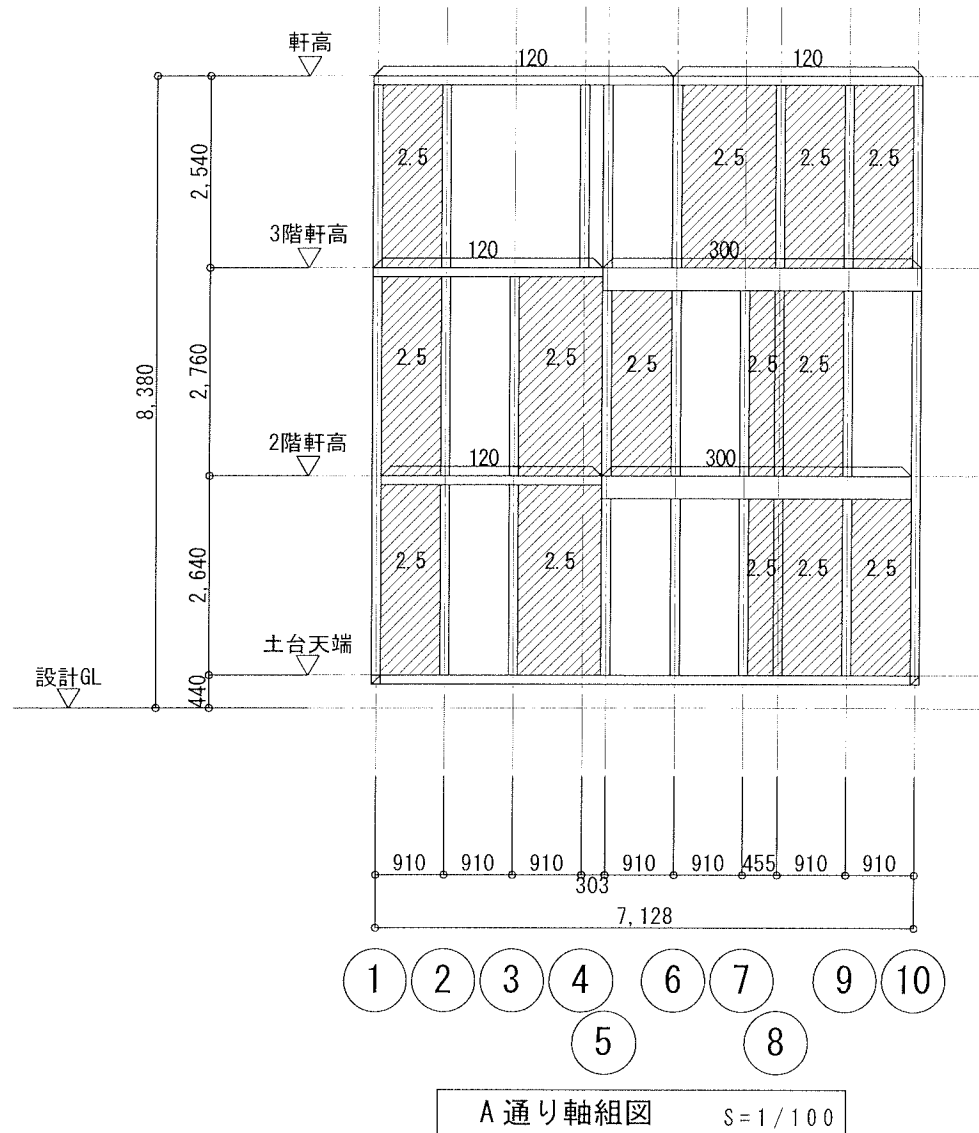
図面番号

S - 15



柱の有効細長比 3階  $\lambda=73.237$   
 2階  $\lambda=79.580$   
 1階  $\lambda=76.120$

換気扇等の穴の補強方法  
 ※補強する穴はφ100以上とする。



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
 小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
 二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
 株式会社 ミュ一設計室  
 一級建築士 大臣登録 第212714号  
 阿部 匡

設計



設計年月日  
 2015/10/28

工事名称  
 檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事

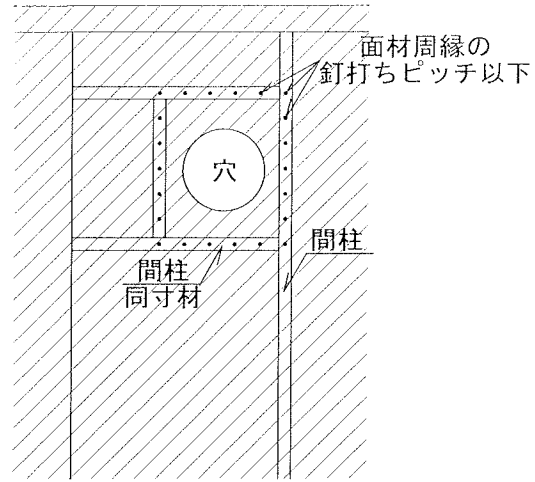
図面名  
 軸組図(1)

縮尺  
 S=1:100

図面番号

S-16

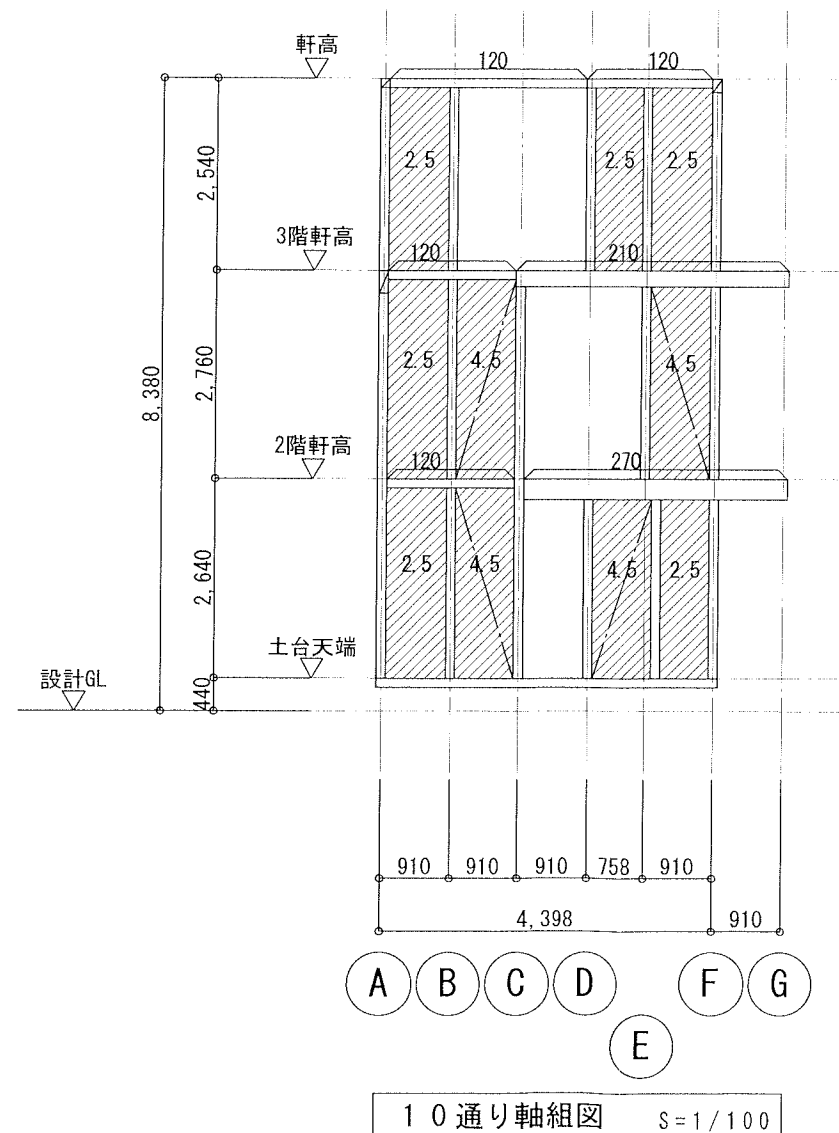
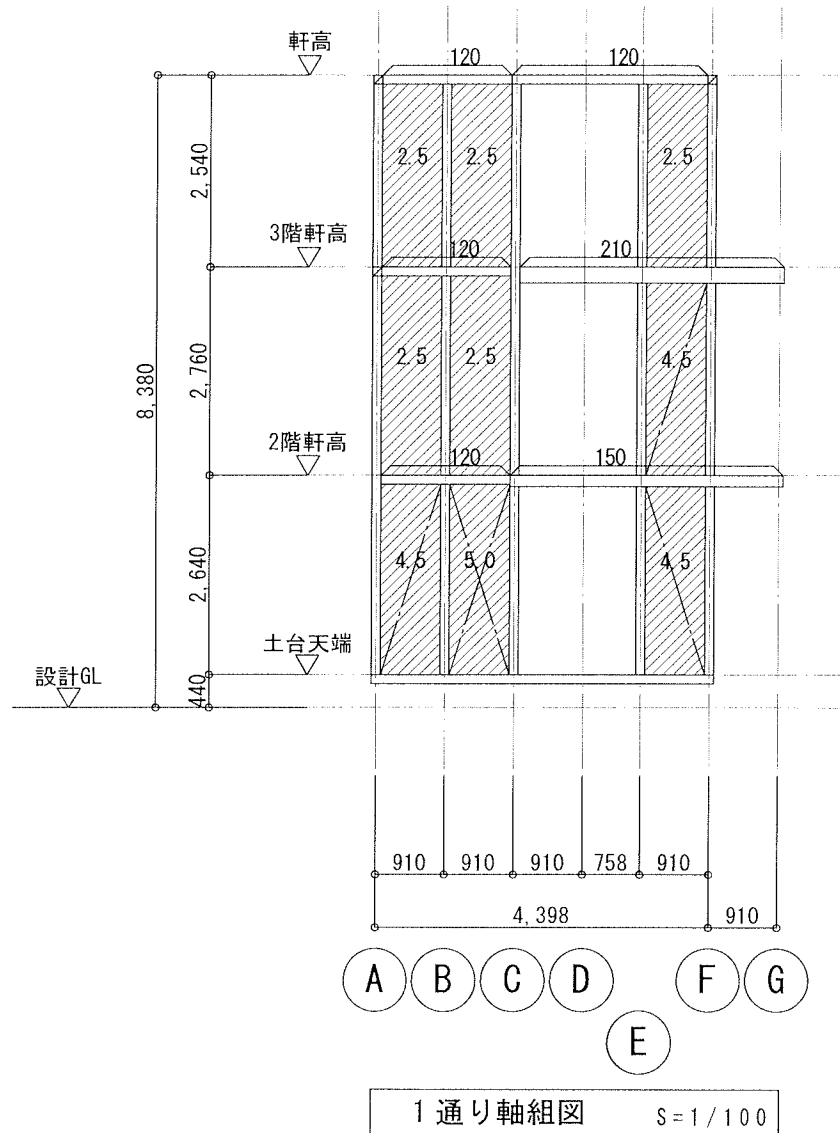




柱の有効細長比 3階  $\lambda=73.237$   
 2階  $\lambda=79.580$   
 1階  $\lambda=76.120$

換気扇等の穴の補強方法

※補強する穴はφ100以上とする。



HIRATSUKA

株式会社平塚住宅 一級建築士事務所  
 小豆畑 充宏

東京都知事登録 第55992号  
 二級建築士登録 第78977号

印

構造設計事務所  
 株式会社 ミュー設計室  
 一級建築士 大臣登録 第212714号  
 阿部 匡

設計



設計年月日  
 2015/10/28

工事名称  
 檜の家 菅稲田堤2丁目 D号棟 新築工事 設計図

図面名  
 軸組図(2)

縮尺  
 S=1:100

図面番号

S-17